

## 第2章 環境保全施策の推進

「目黒区環境基本計画」に掲げた3つの基本目標の達成に向けて、2016（平成28）年度に実施した主な環境保全施策の内容について報告します。

### 基本目標1 良好な生活環境を守りはぐくむ

#### 1-1 きれいな空気と水辺のあるまちで暮らす（本編P.10～18）

##### 【2012（平成24）～2016（平成28）年度の成果と課題】

- 区では、東山中学校に大気汚染測定室を設け、大気汚染物質の常時監視を行っています。測定項目中、二酸化硫黄（SO<sub>2</sub>）、一酸化炭素（CO）については、環境基準値を下回る低い数値で安定しているため、2014（平成26）年度をもって測定を止めました。光化学オキシダント<sup>1</sup>は、区内を含む都内で環境基準を達成しておらず、都全体の課題となっています。
- 主要幹線道路沿線の窒素酸化物<sup>2</sup>調査では、測定期間中（20日間）の二酸化窒素の測定結果は、環境基準値以下の値でした。
- 水環境については、目黒川の1地点において、2つの生活環境項目が環境基準を満たしていませんでした。また、水温があがる季節には、悪臭や白濁などの課題があります。
- 自動車交通騒音（面的調査）では、夜間の環境基準達成率が低い状況が続いており、調査を継続して騒音の発生状況の把握に努めていきます。

##### <指標の評価>

😊：目標値を達成    😊：目標値に近づいている    😞：目標値に近づいていない    —：現状値を把握していない

指標項目〔環境指標〕	基準年度	基準年度末時点実績値	2016（平成28）年度末実績値	2021（平成33）年度数値目標	評価
大気環境					
大気汚染常時監視	22	4項目達成 (光化学オキシダント非達成)	3項目達成 (光化学オキシダント非達成)	環境基準の達成	😞
沿道の窒素酸化物濃度	22	全地点達成	全地点達成	全地点達成 <sup>*1</sup>	😊
水環境（目黒川での水質測定）					
生活環境項目 (水素イオン濃度/溶存酸素/生物化学的酸素要求量/浮遊物質)	22	1地点で1回BOD <sup>3</sup> が環境基準値を満たさなかった	1地点で1回BODとDO <sup>4</sup> が環境基準値を満たさなかった	全月達成 <sup>*2</sup>	😞
衛生環境項目 (カドミウム/全シアン/鉛/六価クロム)	22	全月達成	全月達成	全月達成 <sup>*2</sup>	😊
騒音（沿道の交通騒音測定一面的評価調査）					
対象道路 <sup>*3</sup> (玉川/目黒/山手/駒沢/環七/鮫洲丸山/自由/淡島)	昼間	—	—	6地点中3地点で達成	全6地点で環境基準の達成 😞 <sup>*4</sup>
	夜間	—	—	6地点中0地点で達成	全6地点で環境基準の達成 😞 <sup>*4</sup>

※1 測定期間中（20日間）の平均値が、全地点（8地点）で環境基準値を満たしていること。

※2 全地点（3地点）、全月（年4回）で環境基準値を満たしていること。

※3 国土交通省平成22年度道路交通センサス（22区間）が対象。単年度の測定は、全22区間から偏りのないよう計画的に6区間（地点）を選定して実施している。

※4 前年度との比較で評価した。（2015《平成27》年度は、昼間は6地点中4地点で達成、夜間は6地点中2地点で達成）

##### 指標について

環境基本計画の進行管理を行うため、基本方針ごとに指標を設けています。数値目標を設定している環境指標は3段階（😊・😊・😞）、目指す方向を設定している取組指標は2段階（😊・😞）で評価しています。また、基本方針によっては、環境指標、取組指標のいずれかしかない場合があります。

1 光化学オキシダント：大気中で太陽光中の紫外線を受けて、光化学反応により生成する大気汚染物質群のうち二酸化窒素を除いたもの。  
 2 窒素酸化物：燃料中や空気中の窒素が燃焼して酸化することにより生成される。健康影響のほか、光化学オキシダントの原因物質のひとつ。  
 3 BOD（生物化学的酸素要求量）：河川の水質を表す指標のひとつで、水中の微生物が有機物を酸化・分解するときに消費する酸素の量を示す。BOD値が大きいほど汚濁物質（有機物）が多く、水の汚濁が進んでいるといえる。  
 4 DO（溶存酸素量）：河川の水質を表す指標のひとつで、水中に含まれる酸素量のこと。

### 1-1-1 大気環境の保全

区では、東山中学校屋上に大気汚染測定室を設け、毎年、浮遊粒子状物質（SPM）<sup>5</sup>、微小粒子状物質（PM2.5）<sup>6</sup>、二酸化窒素（NO<sub>2</sub>）<sup>7</sup>及び光化学オキシダントなどの測定を実施しています。観測の結果、光化学オキシダントは、基準を達成しませんでした。

### 1-1-2 水環境の保全

河川の水質改善や臭気抑制を目的として、目黒川では、河川・水面の清掃、河床整正・浚渫<sup>8</sup>、クリーンアップ大作戦の実施などに取り組みました。また、呑川でも河川・水面の清掃に取り組みました。

### 1-1-3 有害物質による汚染の防止

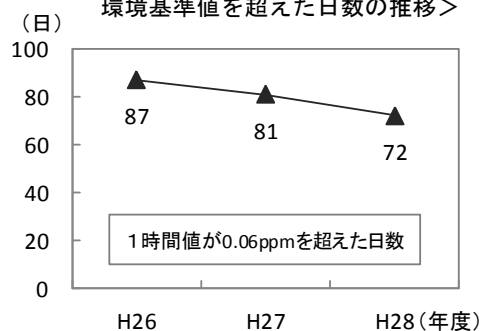
「水質汚濁防止法」・「下水道法」に基づく有害物質を製造、使用又は処理する特定施設の跡地などにおいて、有害物質の漏えいなどによる地下水の汚染を防止するため、区では「都民の健康と安全を確保する環境に関する条例（東京都環境確保条例）」などに基づき、土壌汚染調査時に4件の立入監察を実施しました。

また、区では、アスベスト（石綿）を使用している建築物の実態把握と、建築物などを解体、改造、補修する際のアスベストの飛散防止対策徹底のため、解体・改修工事に際して作業方法の指導などを行っているほか、アスベストの含有などの調査費用の助成や、中小企業に対するアスベスト含有建築材除去の融資あっせんを行っています。調査費用の助成は、1件でした。

### 1-1-4 身近な生活環境の保全

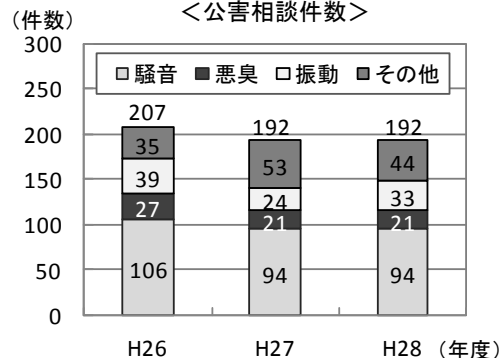
生活公害（騒音・振動・悪臭など）に係る相談・調整について、近年の公害相談は、騒音・振動、悪臭など典型7公害のほかに、アスベスト被害に対する不安や一般生活苦情（空き地の雑草、落ち葉）など多岐にわたっており、解決までに時間を要する困難な案件も増加しています。

＜光化学オキシダント濃度が環境基準値を超えた日数の推移＞



＜目黒川クリーンアップ大作戦＞

＜公害相談件数＞



## 1-2 みどりあふれるまちで暮らす

（本編P.19～24）

### 【2012（平成24）～2016（平成28）年度の成果と課題】

- ・区内のみどりに関して、公園・ひろばなどの面積は、2010（平成22）年度と比較して1.06ha増加し、活動を行う登録団体数も21団体増加しました。また、みどりのまちなみ助成により、屋上や壁面などに新たに緑化された面積も増加しました。
- ・いきものに関しては、いきもの气象台情報提供数が1.6倍に増加しました。野鳥の年間確認種数は、年による変動はあるものの、長期的には維持しています。
- ・みどりの保全と創出を通じて、エコロジカルネットワークを形成していくとともに、みどりや生物多様性に対する区民意識の醸成、みどりに関わる区民の皆さんとの協働をさらに推進していきます。

<sup>5</sup> 浮遊粒子状物質（SPM）：大気中の粒子状物質のうち、粒径10マイクロメートル以下のものをいう。呼吸器系に悪影響を及ぼすおそれがあるため、環境基準が設定されている。

<sup>6</sup> 微小粒子状物質（PM2.5）：大気中の粒子状物質のうち、粒径2.5マイクロメートル以下のものをいう。呼吸器系に悪影響を及ぼすおそれがあるため、環境基準が設定されている。

<sup>7</sup> 二酸化窒素（NO<sub>2</sub>）：大気中に排出される窒素酸化物のほとんどを占めている。主に自動車排気ガスなどから発生し、呼吸器系に悪影響を及ぼすこともあるため、環境基準が設定されている。

<sup>8</sup> 河床整正・浚渫（かしょうせいせい・しゅんせつ）：河床をならし、堆積した土砂を取り除くこと。

## <指標の評価>

😊: 目標値を達成    😊: 目標値に近づいている    😞: 目標値に近づいていない    -: 現状値を把握していない

指標項目	環境指標 取組指標	基準 年度	基準年度末 時点実績値	2016 (平成28) 年度末実績値	2021 (平成33) 年度数値目標 (目指す方向)	評価
みどりの量						
緑被率※1		15	17.1%	17.3%※2	20%※3	😊
公園・ひろばなどの面積		22	49.01ha	50.07ha	52ha	😊
みどりの質						
公園などで活動を行う 登録団体数※4		22	91団体	112団体	100団体	😊
指標在来生物種の分布率		22	37%	44%	50%	😊
みどりのまちなみ助成緑化面積・延長(累計値)						
接道		22	9,581.12m	10,404.37m	増加	😊
屋上		22	3,726.55m <sup>2</sup>	4,903.39m <sup>2</sup>		
壁面		22	414.67m <sup>2</sup>	476.85m <sup>2</sup>		
いきもの气象台情報提供数		22	1,695件	2,784件	増加	😊
いきもの発見隊実施 (回数/参加人数)		22	2回/134人	2回/77人	継続	😊
野鳥の年間確認種数※5		22	52種	44種	維持	😊

※1 緑被率:一定地域の中で上空から見て芝や樹冠など緑で地上が覆われた面積が占める割合。水面や広場を含まない純粋な植物の緑が対象。概ね5年に1度の測定のため26年度実績値。

※2 2014(平成26)年度実績値。

※3 2025(平成37)年度数値目標(目指す方向)。

※4 公園活動登録団体とグリーンクラブ。

※5 2016(平成28)年1~12月での集計。

### 1-2-1 街なかのみどりの保全

区のみどりの約5割は、住宅地にあります。このため、住宅地のみどりの保全を図ることが大切です。区では、一定規模以上の大きさの樹木、生け垣、樹林を保存樹木などとして指定し、維持管理費用の一部を助成しています。なお、2012(平成24)年度から休止していた新規指定を2015(平成27)年度から再開し、総数は671件となりました。

#### <保存樹木などの指定状況>

種別	指定対象	指定数
保存樹木	幹周りが80cm以上又は高さが1.5m以上ある樹木	580本
保存生け垣	高さが0.9m以上で長さが2.0m以上ある生け垣	65件
保存樹林	300m <sup>2</sup> 以上の樹林地	26件



<道路沿い緑化の例>

### 1-2-2 身近な場所にみどりを育てる

区全体の面積の約7割は、民有地です。区では、民有地のみどりを増やすため、「みどりのまちなみ助成」を実施しています。接道(道路沿い)177.94m、屋上・ベランダ56.27m<sup>2</sup>が新たに緑化されました。

### 1-2-3 都市の生物多様性の確保

雑木林の管理作業や自然観察を通じて自然保護意識の向上を図ることを目的に、自然クラブを24回開催し、853人の参加がありました。また、駒場野公園内の自然観察舎で体験型自然学習の推進を行っています。自然観察舎は16,237人の利用がありました。



<住民参加による公園管理>

## 【2012(平成24)~2016(平成28)年度の成果と課題】

- ・スィーパーズ<sup>9</sup>の活動団体数は、34団体となり、この5年間で2団体増加し、目標値を達成しました。まちの美化を推進するため、引き続き活動の継続、参加団体の増加に向けた支援を進めます。

### <指標の評価>

☺: 目標値を達成    😊: 目標値に近づいている    ☹: 目標値に近づいていない    -: 現状値を把握していない

指標項目〔取組指標〕	基準年度	基準年度末時点実績値	2016(平成28)年度末実績値	2021(平成33)年度数値目標(目指す方向)	評価
スィーパーズの活動団体数	22	32団体	34団体	増加	☺
区内文化財めぐり開催(回数/参加者数)	22	7回/246人	6回/179人	継続	😊

### 1-3-1 きれいで住み心地のよいまちづくり

中目黒スィーパーズの活動実績として、1,343回、延べ12,546人が清掃活動に参加しました。

区では、環境美化推進団体にトングやガム取り棒など清掃用具の貸出しや啓発品の提供、さらに落書きの消去剤の貸出し3件を行いました。また、落書き防止対策の補助1件、相談8件を受け付けました。

また、犬のふん放置防止などのマナー向上のため、啓発プレートの配布と犬の飼い方の講習を開催したほか、苦情などの相談に対応しました。



<スィーパーズ活動>

### 1-3-2 街並み景観の向上・歴史的文化的資源の活用

区内に残る文化財を守り後世に伝えていくため、調査や保護を行い、文化財マップなどの作成と普及活動を行っています。

さらに、すすめのお宿緑地公園内にある、区指定文化財の旧栗山家主屋を移築復元した「古民家」では、節句飾り、七夕まつりなどの年中行事を行い、伝統文化を学び継承する機会を提供しました。また、「東京9区 文化財・古民家めぐり<sup>10</sup>」の合同開催など、他区と連携した取組も推進しました。

#### <取組内容> (単位: 件)

項目	内容	件数
遺跡調査	建設工事に伴う埋蔵文化財の試掘調査	11
	立会調査	42
	整理調査	3
	発掘調査	0
標識整備	文化財説明板	4



<節句の鯉のぼり>

<sup>9</sup> スィーパーズ: ボランティアによる清掃活動団体のことで、現在、中目黒スィーパーズは中目黒駅周辺、権之助・大鳥スィーパーズは目黒駅周辺で活動している。

<sup>10</sup> 東京9区 文化財・古民家めぐり: 東京9区とは足立区、北区、板橋区、江戸川区、江東区、練馬区、杉並区、世田谷区、目黒区の9区のこと。

## 基本目標2 ライフスタイルの転換で環境を守りはぐくむ

### 2-1 ものを大切にできる地域社会をめざす

(本編P.28~35)

#### 【2012(平成24)~2016(平成28)年度の成果と課題】

- ・2016(平成28)年度のごみ量は、52,705 tであり、2010(平成22)年度と比較して1,775 t減少しましたが、更なる削減に向け取組を進めていきます。
- ・リサイクル率は、高い水準(23区の中でトップ水準)を維持しているものの、2010(平成22)年度と比較して1.2%減少しました。資源回収量も1,863 t減少しており、ごみの分別、資源回収の取組を推進していきます。
- ・マイバッグ持参率は、2010(平成22)年度と比較して増加していますが、2014(平成26)年度以降、約76~78%の間で推移しており、横ばいとなっています。マイバッグ持参をはじめとする、ごみの発生抑制に向けた取組の普及に更に努めていきます。

#### <指標の評価>

😊: 目標値を達成    😊: 目標値に近づいている    😞: 目標値に近づいていない    —: 現状値を把握していない

指標項目	〔環境指標〕 〔取組指標〕	基準年度	基準年度末 時点実績値	2016 (平成28) 年度末実績値	2021 (平成33) 年度数値目標 (目指す方向)	評価
ごみ量		22	54,480 t	52,705 t	42,163 t	😞
リサイクル率		22	27.9%	26.7%	2016 (平成28)年 までに40%	😞
資源回収量		22	21,029 t	19,166 t	増加	😞
区民1人・1日あたりのごみ量		22	570 g	528 g	減少	😊
区民1人・1日あたりの資源量		22	220 g	192 g	増加	😞
マイバッグ持参率		22	69.3%	76.8%	増加	😊

※この指標は、2016(平成28)年3月改定前の「目黒区一般廃棄物処理基本計画」に基づいて作成しています。

#### 2-1-1 ごみの発生抑制

これまで呼びかけを行ってきた「めぐろ買い物ルール」に加え、「1人1日あたりごみ量を約100g減量」に向け、「MGR100」プロジェクトスタートキャンペーンを行い、ごみ減量アイデアを募集し、区ホームページで紹介しました。

#### 2-1-2 円滑な資源循環

リユース・リサイクルを定着させ、「もったいない」意識の向上と環境への理解を深めるため、リサイクル着物セールや子ども服の交換会を開催しています。各家庭に眠っている不用品が有効利用される場の提供にもなっています。

#### 2-1-3 ごみの適正処理の推進

区内の保育園や小学校など34か所に出張し、子どもを対象に、資源やごみの適正排出やごみの減量について、スケルトン清掃車やパネルなどを活用しながら講座を行う、環境学習を実施しました。



<環境学習の様子>

### 【2012(平成24)~2016(平成28)年度の成果と課題】

- ・ 温室効果ガス排出量は、1,109千t-CO<sub>2</sub>eqであり、2004(平成16)年度と比較し50千t-CO<sub>2</sub>eq減少しましたが、更なる削減に向け今後も継続した取組を行います。
- ・ 区民の皆さんの再生可能エネルギーへの関心は高く、太陽光発電システムの助成件数(累計)は、2010(平成22)年度と比較して7.3倍に増加しました。温室効果ガス排出量の削減に向け、引き続き再生可能エネルギーの普及拡大を図っていきます。
- ・ 区内街路灯のLED設置数(累計)、保水性舗装・遮熱性舗装の整備面積も5年間で着実に増加しており、今後も適切に取組を進めていきます。

#### <指標の評価>

😊: 目標値を達成    😊: 目標値に近づいている    😞: 目標値に近づいていない    —: 現状値を把握していない

指標項目	環境指標 取組指標	基準 年度	基準年度末 時点実績値	2016 (平成28) 年度末実績値	2021 (平成33) 年度数値目標 (目指す方向)	評価
温室効果ガス排出量 (二酸化炭素)※1		16	1,159 千t-CO <sub>2</sub> eq※2	1,109 千t-CO <sub>2</sub> eq (2014《平成26》 年度実績値)	1,011 千t-CO <sub>2</sub> eq※3 (2020《平成32》 年度目標値)	😊
太陽光発電システムの助成 件数(累計値)※4		22	95件	698件	増加	😊
区内街路灯のLED 設置数(累計値)		22	632基	4,919基	増加	😊
庁用車の低公害車導入台数		22	1台	2台	増加	😊
保水性舗装・遮熱性舗装の整備面積						
保水性舗装(累計値)		22	6,155m <sup>2</sup>	10,748m <sup>2</sup> ※5	増加	—
遮熱性舗装(累計値)		22	3,417m <sup>2</sup>	5,974m <sup>2</sup> ※6	増加	😊

※1 「目黒区地球温暖化対策地域推進計画(第二次計画)」では、「地球温暖化対策推進法」の対象である7種類のガスのうち96%以上を占める「二酸化炭素」が対象。

※2 CO<sub>2</sub>eqは“CO<sub>2</sub>equivalent”の略。エネルギー使用量を二酸化炭素の排出係数を用いてCO<sub>2</sub>相当量に換算した値。

※3 「目黒区地球温暖化対策地域推進計画(第二次計画)」の計画期間は、2020(平成32)年度まで。最新値は2014(平成26)年度の数値。出典:オール東京62市区町村共同事業「みどり東京・温暖化防止プロジェクト」特別区の温室効果ガス排出量<1990《平成2》~2014《平成26》年度・2017(平成29)年3月発行

※4 住宅用新エネルギー及び省エネルギー機器設置費の助成額を、太陽光発電システムの助成上限額で換算した件数。

※5 2016(平成28)年度版めぐろの環境掲載値は目黒川沿線の数値のみだったため、全体の数値に訂正。

※6 保水性舗装と遮熱性舗装を隔年で実施し、2016(平成28)年度は遮熱性舗装を実施。

### 2-2-1 低炭素ライフスタイルの普及

省エネ行動を推進するため、講座などを展開しています。みんなで楽しく笑いながら省エネにトライする、「めぐろ笑エネトライ」には、18人の参加がありました。

また、区有施設において節電対策の一環として、5月1日から10月31日までの期間で室内温度を28度に設定し、軽装で仕事を行う「節電ビズ」を実施しました。

### 2-2-2 事業活動の低炭素化

太陽光発電の導入やエコカーの購入など、中小企業者の環境に配慮した設備導入を支援するため、融資あっせんに優遇利率を適用しています。融資あっせん実績は、太陽光発電が3件、低公害車の導入が5件でした。

### 2-2-3 ヒートアイランド現象の緩和

田道ふれあい館で打ち水を実施し、50人が参加しました。



<打ち水>

# 基本目標3 環境を守りはぐくむ人づくり

## 3-1 人を育てて行動を促す

(本編P.41~49)

### 【2012(平成24)~2016(平成28)年度の成果と課題】

- 2016(平成28)年度に開催された環境推進員養成講座では、12人が修了生となりました。このうち9人がめぐろエコサポーター制度に登録し、1年間の環境保全活動終了後に、環境推進員として登録される予定です。今後も養成講座を開催するとともに、養成講座修了生への支援を充実させ、地域で活動する環境推進員の増加を目指します。
- 「めぐろ笑エネトライ」の参加人数、「めぐろグリーンアクションプログラム(事業所版)」の新規認定件数が伸び悩んでいます。より多くの区民の皆さんや事業者に参加いただけるよう、周知、普及啓発に努めていきます。

#### <指標の評価>

☺: 目標値を達成    ☹: 目標値に近づいている    ☹: 目標値に近づいていない    -: 現状値を把握していない

指標項目	環境指標 取組指標	基準 年度	基準年度末 時点実績値	2016 (平成28) 年度末実績値	2021 (平成33) 年度数値目標 (目指す方向)	評価
環境推進員養成講座修了者数 (累計値)		22	63人	158人	263人	☹
環境保全活動参加経験率※1		24	5.8%	6.6%	2012 (平成24)年度 実績+10%	☹
環境に関する情報提供の満足度※2		24	11.0%	17.7%	2012 (平成24)年度 実績+10%	☹
めぐろ笑エネトライの参加者数※3		27	22人	18人	増加	☹
めぐろグリーンアクションプログラム(事業所版)の新規認定件数		22	1件	0件	増加	☹
区ホームページ※4(もっと知りたい環境のこと)アクセス数		23	697件	197件	増加	☹

※1 環境に関するアンケートの問「区で行っている環境保全に関する取組への参加経験」に対し、どれかに参加したことがあると答えた人の割合。

※2 環境に関するアンケートの問「環境に関する情報提供の満足度」に対し、満足及びやや満足と答えた人の割合。

※3 めぐろ笑エネトライは、めぐろグリーンアクションプログラム普及版を改訂した事業。

※4 トップページ>キーワードから知るめぐろのこと>学ぶ>もっと知りたい環境のこと

### 3-1-1 環境教育・学習の推進

環境に配慮した生活を提案するため、身近な体験を通して楽しく学べる、さまざまなテーマの講座・講習会を目黒区エコプラザで開催しました。バスボム講座など延べ97講座を開催し、2,564人が参加しました。

### 3-1-2 環境情報の提供

6月の環境月間に総合庁舎西口ロビーで環境パネル展を行い、省エネ活動・ポイ捨て防止の啓発や、環境推進員などを紹介しました。エコプラザニュースの発行など、広報の充実を図り、さまざまな機会、媒体を活用して環境情報の発信力を高めました。

### 3-1-3 人材や活動団体の育成

環境推進員養成講座を開催しました。15人の受講生のうち、12人が修了しました。



<さき織り体験講座>

#### <目黒区エコプラザ情報室の利用状況>

利用項目	登録人数/利用回数
新規利用登録数	142人
活動室利用件数	466件
図書貸出件数	186件
不用品情報登録件数	301件
不用品のあっせん成立	92件

### 3-1-4 事業者の取組の促進

めぐろグリーンアクションプログラム（事業所版）を推進し、認定会を3回行いました。更新認定が3件、中間報告が17件ありました。新規の認定は、ありませんでした。

## 3-2 人のつながりを育てる

（本編P.50～53）

### 【2012（平成24）～2016（平成28）年度の成果と課題】

- 目黒区エコプラザ登録団体数は、6団体で、2010（平成22）年度より減少しました。区民の皆さん、団体、事業者の行動は、環境保全の取組の中心的な役割を担うものであり、すべての環境の基盤となるものであることから、育成した人材の活躍の支援、活動の組織化、人材や団体の交流などの支援を強化していきます。
- 地球温暖化対策地域協議会、環境審議会ともに継続的に開催しています。今後も、定期的に地球温暖化対策地域協議会、環境審議会を開催し、区民の皆さん・団体・事業者のパートナーシップにより環境施策を推進していきます。

#### <指標の評価>

😊：目標値を達成    😊：目標値に近づいている    😞：目標値に近づいていない    —：現状値を把握していない

指標項目	環境指標 取組指標	基準 年度	基準年度末 時点実績値	2016 （平成28） 年度末実績値	2021 （平成33） 年度数値目標 （目指す方向）	評価
目黒区エコプラザ登録団体数		22	8団体	6団体	38団体 （3団体/年）	😞
地球温暖化対策地域協議会開催回数		22	2回	2回	継続的な開催	😊
環境審議会開催回数		22	4回	5回	継続的な開催	😊

### 3-2-1 地域の環境保全活動の活性化・ネットワーク化

2016（平成28）年6月に、エコライフめぐろ推進協会と共催で「エコまつり🌱めぐろ2016」を開催しました。参加団体数は41団体、来場者数は約1,870人でした。

また、地域の環境活動の活性化につなげるため、幅広い環境活動に継続して取り組んでいる区民の皆さん・団体・事業者を顕彰する「エコ・チャレンジ顕彰」について、3事業者を顕彰しました。



<エコまつり🌱めぐろ2016>

### 3-2-2 区民・事業者・区のパートナーシップの構築

協働による環境保全活動の推進に向けて、環境審議会を5回開催し、「目黒区環境基本計画」改定についての審議を行いました。

また、地球温暖化対策地域協議会を2回開催し、「目黒区地球温暖化対策地域推進計画」の進捗状況の確認、目標に向けた効果的な取組について検討しました。

### 3-2-3 地域を越えた広域的な連携

「めぐろエコの森」は、地球温暖化対策におけるカーボン・オフセット<sup>11</sup>を展望した事業のひとつとして、2010（平成22）年度に友好都市である宮城県角田市の四方山の一角に創設しました。

「めぐろエコの森」に植樹した樹木を生育させるために、生育の支障となる下草などの刈り払いを2回行いました。さらに、獣類による被害を防止するための忌避剤散布を行いました。



<めぐろエコの森>

<sup>11</sup> カーボン・オフセット：温室効果ガス排出量のうち、どうしても削減できない量の全部又は一部を他の場所での排出削減・吸収量でオフセット（埋め合わせ）すること。